

業務状況の公表

鹿屋市告示第320-4号

鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき
令和8年3月31日現在の鹿屋市下水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和8年6月1日

鹿屋市長 郷原 拓男

目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和7年度鹿屋市下水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和8年度鹿屋市下水道事業当初予算の概要	5

令和7年度 鹿屋市下水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、汚水整備事業について、鹿屋市公共下水道事業計画に基づき、下水道未普及地域の汚水管渠整備を実施した。また、雨水事業について、鹿屋市総合雨水排水対策事業計画に基づき、雨水管渠整備等を実施し、計画的な整備及び施設の維持管理に努めた。

2 業務量

年度別 区分	令和7年度 下半期	令和7年度 上半期	増 減	令和7年度末 現在
処 理 件 数 (件)	29,352	29,150	202	58,502
総 処 理 水 量 (m ³)	1,010,477	1,040,983	△ 30,506	2,051,460
1 日 平 均 処 理 水 量 (m ³)	5,552	5,688	△ 136	5,620
年 間 有 収 水 量 (m ³)	988,552	970,896	17,656	1,959,448
有 収 率 (%)	97.83	93.27	4.56	95.51
1 日 平 均 有 収 水 量 (m ³)	5,432	5,305	127	5,368

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出（税込）

（単位：円）

	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	予算に対し 増減額
			下半期	上半期			
収 入	下水道事業収益	926,983,000	392,462,362	521,870,121	914,332,483	0	△ 12,650,517
	営業収益	331,904,000	149,675,022	183,670,558	333,345,580	0	1,441,580
	営業外収益	595,078,000	242,787,340	338,196,593	580,983,933	0	△ 14,094,067
	特別利益	1,000	0	2,970	2,970	0	1,970
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	不用額
			下半期	上半期			
	下水道事業費用	857,569,000	696,517,320	116,147,583	812,664,903	0	44,904,097
	営業費用	787,067,000	664,514,981	85,051,197	749,566,178	0	37,500,822
	営業外費用	67,397,000	32,002,339	30,993,040	62,995,379	0	4,401,621
特別損失	105,000	0	103,346	103,346	0	1,654	
予備費	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	

(2) 資本的収入及び支出（税込）

（単位：円）

	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	予算に対し 増減額
			下半期	上半期			
収 入	資本的収入	533,164,000	157,620,000	219,854,810	377,474,810	135,480,000	△ 155,689,190
	企業債	280,400,000	164,600,000	0	164,600,000	91,700,000	△ 115,800,000
	補助金	242,011,000	△ 6,980,000	209,011,000	202,031,000	43,780,000	△ 39,980,000
	分担金及び 負担金	10,752,000	0	10,843,810	10,843,810	0	91,810
	固定資産 売却代金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	繰越額	不用額
			下半期	上半期			
	資本的支出	854,218,000	359,234,147	290,022,022	649,256,169	154,790,000	50,171,831
	建設改良費	529,020,000	197,999,972	126,060,033	324,060,005	154,790,000	50,169,995
企業債償還金	324,985,000	161,021,884	163,961,989	324,983,873	0	1,127	
国庫金返還金	213,000	212,291	0	212,291	0	709	

4 企業債の状況

（単位：円）

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
4,251,913,024	164,600,000	161,021,884	163,961,989	4,091,529,151

5 令和7年度鹿屋市下水道事業貸借対照表 (消費税抜)

(令和8年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
(1)	有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		506,357,251	
	ロ 建 物	379,831,302		
	減価償却累計額	<u>△ 111,440,267</u>	268,391,035	
	ハ 構 築 物	13,642,551,031		
	減価償却累計額	<u>△ 2,405,409,545</u>	11,237,141,486	
	ニ 機 械 及 び 装 置	1,313,139,884		
	減価償却累計額	△ 598,151,392	714,988,492	
	ホ 車 両 運 搬 具	966,883		
	減価償却累計額	<u>△ 30,590</u>	936,293	
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	7,376,593		
	減価償却累計額	<u>△ 3,052,810</u>	4,323,783	
	ト 建 設 仮 勘 定		63,072,048	
	有形固定資産合計		<u>12,795,210,388</u>	
	固定資産合計			12,795,210,388
2	流 動 資 産			
(1)	現 金 預 金		523,153,208	
(2)	未 収 金		61,398,069	
	未収金貸倒引当金	<u>△ 770,418</u>	<u>60,627,651</u>	
	流動資産合計			<u>583,780,859</u>
	資 産 合 計			<u>13,378,991,247</u>

負債の部

(単位：円)

3	固定負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費財源に充てるための企業債	3,774,259,148	
	(2) 引当金		
	イ 退職給付引当金		
	固定負債合計		3,774,259,148
4	流動負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費財源に充てるための企業債	317,270,003	
	(2) 未払金	30,357,437	
	(3) 引当金		
	イ 賞与引当金	6,527,207	
	ロ 法定福利費引当金	1,326,328	
	引当金合計	7,853,535	
	(4) その他流動負債	232,618	
	流動負債合計		355,713,593
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金	6,885,003,671	
	(2) 長期前受金収益化累計額	△ 1,415,119,209	
	繰延収益合計		5,469,884,462
	負債合計		<u>9,599,857,203</u>

資本の部

6	資本金		3,094,292,918
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 受贈財産評価額	503,168,251	
	ロ 補助金(国・県・市)	1,704,586	
	資本剰余金合計	504,872,837	
	(2) 利益剰余金		
	イ 建設改良積立金	745,262	
	ロ 当年度未処分利益剰余金	179,223,027	
	利益剰余金合計	179,968,289	
	剰余金合計		684,841,126
	資本合計		<u>3,779,134,044</u>
	負債資本合計		<u>13,378,991,247</u>

6 令和8年度鹿屋市下水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

人口減少や施設の老朽化による更新費用増加など、下水道事業の経営環境は厳しい状況が続いている。将来にわたって安定的な下水道サービスの提供を維持していくため、令和7年度に改定した経営戦略に基づき、計画的かつ合理的な経営を行うことを基本とした予算編成を行う。

(2) 業務の予定量

① 接続人口	15,100 人
② 年間総処理水量	2,094,000 m ³
③ 1日平均均処理水量	5,730 m ³
④ 主要な建設改良事業	236,100 千円

(3) 主な事業

① 汚水整備事業

鹿屋市公共下水道事業計画（第8期）に基づき、汚水整備事業を行う。計画区域内における未整備地区の汚水管渠整備を計画的に行い、生活環境の改善を図る。

② 雨水整備事業

鹿屋市総合雨水排水対策事業計画に基づき、王子札元地区の道路冠水解消に向けて、雨水管渠の整備を行う。

③ 処理場再構築事業

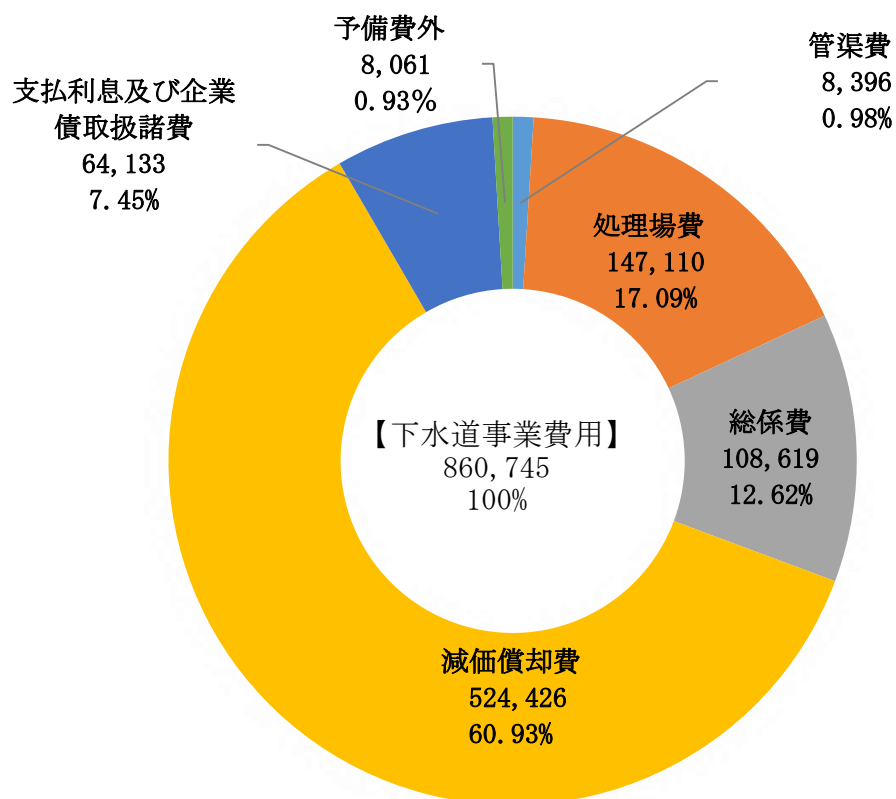
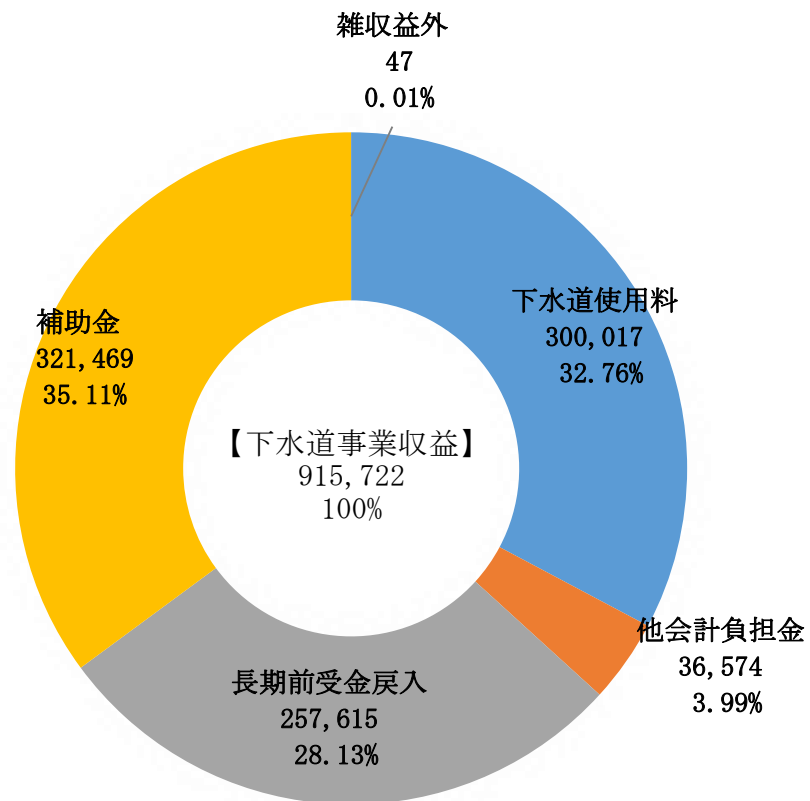
第1期ストックマネジメント計画（R4～R8）に基づき、下水処理センターの設備（次亜塩素タンク）の改修を行い、持続可能な施設の維持を図る。

④ 汚水施設点検調査業務

汚水管路の劣化状況や異常を早期に発見し、適正な改築・更新を実施することで、施設の安全性・効率性を維持し持続可能な下水道システムの構築を図る。

(4) 収益の収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

